

琉球大学学術リポジトリ

琉球列島産鳴く虫に関する研究 第10報 琉球列島の直翅目相

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大城, 安弘, Oshiro, Yasuhiro メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015380

琉球列島産鳴く虫に関する研究

第10報 琉球列島の直翅目相

大 城 安 弘*

(沖縄総合事務局農林水産部)

Yasuhiro ÔSHIRO*: Studies on the Singing Insects in the Ryukyu Islands.

Part 10. On the Orthopterous Fauna in the Ryukyu Islands.

はじめに

琉球列島における直翅目昆虫相については若干の報告がある(高良ら, 1973; 金城ら, 1978, 1980; 日浦ら, 1978; 岡, 1982; 直翅類研究グループ, 1983)が, 特にこの3~4年, 大阪市立自然史博物館を中心とした「直翅類研究グループ」や東京都立大学の山崎柄根によって新属新種が続々と発見・発表されている。そういう状況下でありながらも, 日本(琉球列島)の直翅目昆虫の分類学的研究は未完成で, 多くの未記載種や学名に問題のある種が多い。本来ならば, 記載発表された種のみをリストアップした方が妥当と思われるが, それらが整理(記載)されるまでにはまだまだ長時間を要すると思われるので, 取り敢えず仮称の与えられた種についても報告することにした。

本文に先だち, 本稿を校閲していただき, 有益な御助言を賜った鹿児島大学農学部の永富 昭教授, 松阪大学の上島法博教授, 東京都の松浦一郎氏, 長野県の小林正明氏, 愛知県の岡田正哉氏, 三重県の加納康嗣氏, また, 研究を進

めるに当たり御協力下さった沖縄女子短期大学の鳴き虫会の諸氏に厚く御礼申し上げる。

目 録

各種について学名・和名・採集品データ(採集地・採集年月日・採集個体数・性別・採集者名)・特徴等の順に記した。琉球列島内の産地は北から南へ, そして国内, 国外における分布についても付記した。また, 初めて記録される種については種名の前に※印を付した。なお, 採集者名の無いのは筆者の採集品である。

標本は大阪市立自然史博物館, 名古屋昆虫館, 松阪大学, 小林正明氏, 加納康嗣氏, そして筆者が保管している。

TETTIGONIIDAE キリギリス科

キリギリス亜目(ENSIFERA)の内, 体は左右に平たく, 翅をたたんだときは左翅が右翅の上に重なるのが一般的である。前翅のキチン化強く, 発音器をもつ場合は左右の前翅をたたんだときの水平部がそのために特殊化している。産卵管は剣

* Agriculture, Forestry and Fishery Division, Okinawa General Bureau, Okinawa Development Agency, Maejima 2-21-5, Naha, Okinawa 900, Japan.

状またはそった青竜刀型である。聴覚器は前脛節にあり、附節は4節。これらの特徴をもったものがこのグループで、現在、琉球列島からは31種が知られている。

1. *Togona unicolor* MATSUMURA et SHIRAKI クサキリモドキ

沖縄島(多野岳), 1980-X-11, 1♀, 加納康嗣:(与那覇岳), 1982-i-1, 1♀, 藤本艶彦。

樹上性で形態や色斑は木の葉に酷似する。山崎(1971)はクサキリモドキの和名に対して *Phyllomimus sinicus* の学名を当てているが、本報では表記のようにした。現在のところ沖縄島のみから記録されている。

2. *Phaneroptera* sp. リュウキュウツユムシ (仮称)

沖縄島(名護市), 1977-xi-20, 1♀, 日浦勇:(与那川), 1985-vi-22, 3♂2♀。

久米島, 1983-v-28, 1♂。

渡名喜島, 1978-iv-28, 1♀, 小浜継雄。

北大東島, 1983-i-29, 2♂2♀。

南大東島, 1983-ix-14, 3♂3♀。

宮古島, 1981-viii-20, 1♂, 岡徹。

石垣島, 1979-v-19, 1♂, 岡田正哉:(オモト山麓), 1985-xi-16, 2♂。

与那国島, 1982-vii-23, 3♂3♀, 小林正明: 1983-iii-16, 1♀; 1983-v-16, 1♂。

体色は薄緑色の単色で各脚附節は緑褐色。体形は細長でキャシャな感じがする。

3. *Phaneroptera* sp. アカアシビツユムシ (仮称)

石垣島, 1978-x-4, 1♂, 小浜継雄:(米原), 1981-v-19, 2♂, 岡田正哉。

西表島(浦内川), 1981-vi-24, 1♂1♀, 小林正明。

体色は鮮緑色で濃褐色の斑点が発達し、前胸背板、腹背板側部、中・後腿節はまだら状となる。前腿節、前・中脛節基部は橙赤色(和名の由来)。

4. *Phaneroptera grandis* MATSUMURA et SHIRAKI オオツユムシ

石垣島, 1930-vii-14, 1♀, 宝塚昆虫館。

体長(翅端まで)55mmという大型種。我が国からは石垣島のみから知られている。

台湾(台北市), 1982-x-10, 1♂。

5. *Phaneroptera* sp. オキナワツユムシ(仮称)

沖縄島(奥川), 1977-xi-18, 1♂2♀:(与那川), 1978-x-10, 1♂; 1985-vi-22, 2♂3♀。

6. *Ducetia japonica* (THUNBERG) セスジツユムシ

奄美大島(竜郷町), 1975-vii-9, 1♂, 富永修:(湯湾岳), 1970-vi-26, 1♂, 柴田保彦。

沖縄島(首里), 1978-vi-5, 3♂4♀:(名護市), 1980-x-11, 1♂, 加納康嗣

渡名喜島, 1978-iv-28, 1♀, 小浜継雄。

北大東島, 1983-i-27, 5♂4♀。

宮古島, 1981-viii-20, 1♂2♀, 岡徹。

石垣島, 1975-xii-8, 1♀, 紫田保彦; 1979-v-19, 1♂, 岡田正哉。

沖縄島産は年2化(本州や九州産は年1化)であること、体が大きいこと等からして「種分化」しつつあるものと思われる。

本州・四国・九州。朝鮮, 華北から西は四川, カシミール, 東はニューギニア, オーストラリアまでの熱帯アジア。

7. *Phaulula daitoensis* (MATSUMURA et SHIRAKI) ダイトウクダマキモドキ

奄美大島(名瀬市), 1961-vii-18, 1♀, 今中宏:(赤尾木), 1981-ix-24, 1♂, 吉岡政幸。

沖縄島(呉我山), 1978-vii-26, 2♂2♀。

渡嘉敷島, 1974-xii-1, 1♂, 紫田保彦。

座間味島, 1980-vii-20, 2♂1♀。

津堅島, 1984-vii-28, 1♀。

宮古島, 1975-vi-29, 1♂, 布村 昇。

多良間島, 1979-vii-21, 1♂ 3♀。

石垣島, 1980-xii-8, 1♀, 岡田正哉; 1981-vi-22, 2♂ 1♀, 小林正明; 1973-v-1, 1♀, 土井仲治郎。

竹富島, 1984-vii-10, 13♂ 14♀。

西表島, 1980-xii-7, 2♂, 岡田正哉; 1982-vii-25, 5♂ 3♀, 小林正明。

波照間島, 1983-vi-22, 2♂ 5♀, 清水清市。

与那国島, 1983-iii-18, 1♂ 1♀。

本種の前翅は幅広で丸みを帯びるので他のクダマキモドキやツムシ類と区別できる。雄は「シュ・シュ」と雌は「タッ・タッ」と鳴く。1984年7月10日, 竹富島において1本のクロヨナに約50頭が群棲していた。

八丈島。トカラ宝島・大東島。台湾(恒春)。

8. *Phaulula gracilis* (MATSUMURA et SHIRAKI) ヒメクダマキモドキ

西表島(大富), 1977-x-24, 1♀, 那須孝梯。

与那国島, 1983-vi-30, 1♂, 丹羽 力。

前種に比べ明らかに小さく, 前翅も細い。前種同様, 雄は「シュ・シュ」, 雌は「タッ・タッ」と鳴くという。

本州・四国・九州・八丈島・三宅島・対馬・屋久島・種子島。台湾(北投)。

9. *Psyrana japonica* (SHIRAKI) ヘリグロツユムシ

奄美大島(湯湾), 1970-vi-26, 1♂, 紫田保彦; (山間), 1980-vi-10, 1♂ 1♀, 岡田正哉。藤本によれば♀も鳴くという。日本固有種。

本州・四国・九州・対馬・屋久島。

*10. *Psyrana* sp. オキナウヘリグロツユムシ (仮称)

沖縄島(羽地川上), 1978-vii-15, 1♂, 小浜継雄; (与那川), 1985-vi-22, 8♂ 9♀。

久米島(具志川村), 1983-vi-25, 1♂。

前種に比べ産卵管のトゲ(鋸状突起)が大きい。1985年6月22日の採集品は総て燈火に飛来したものである。

*11. *Psyrana* sp. ヤエヤマヘリグロツユムシ (仮称)

石垣島, 1976-vi-23, 1♂, 宮城頼夫; 1981-vi-22, 1♂ 1♀, 小林正明; 1982-viii-25, 1♀。

与那国島, 1983-vi-2, 2♀, 丹羽力; 1983-v-29, 1♀。

前種に比べやや大型。前胸背後葉 disk の黒帯の形が他種と異なる。

*12. *Isopsera* sp. サキオレツユムシ(仮称)

トカラ中之島, 1984-vi-24, 2♀, 清水清市。奄美大島(新村), 1980-vi-9, 6♂ 3♀, 岡田正哉。

沖縄島(辺野喜), 1985-vi-15, 1♀, 堀繁久。

全体緑色。鳴器部分は褐色でその中央部は濃褐色。聴覚器は内・外側とも開く。前胸背の上側縁(肩の部分)の後方は弱く角張る。尾毛は単純で先端部で内側に曲がる(仮称の由来)。燈火に飛来するらしい。

*13. *Isopsera* sp. ナカオレツユムシ(仮称)

奄美大島, 1980-vii-5, 1♂, 岡田正哉。

沖縄島(呉我山), 1978-vi-8, 1♂; (与那), 1985-vi-22, 4♂ 3♀。

石垣島, 1979-v-17, 1♂; 1981-v-19, 2♂, 岡田正哉; (名蔵), 1981-vi-22, 4♂, 小林正明。

全体緑色。聴覚器は内・外側とも大きく開く。前胸背上側縁(肩)は角張る。前胸背面・側面は平ら。尾毛は太く大きく湾曲する(仮称の由来)。肛上板は三角形, 中央は縦に凹む。生殖下板両端は顕著に発達する。

14. *Mecopoda elongata* (LINNAEUS) タイワンクツワムシ

トカラ中之島, 1953-vi-12, 1♀, 宮本正一。

奄美大島(湯湾岳), 1964-viii-1, 1♀, 筒井嘉隆; (住用村), 1964-vii-31, 1♀, 紫田保彦。
 沖永良部島, 1984-vii-5, 1♀, 清水清市。
 沖縄島(首里), 1972-xii-20, 2♂3♀; (名護岳), 1980-x-11, 1♂1♀, 加納康嗣。
 渡名喜島, 1978-iv-28, 1♀, 小浜継雄。
 渡嘉敷島, 1974-xii-1, 1♂, 紫田保彦。
 久米島, 1983-iii-28, 6♂2♀。
 宮古島, 1981-ix-27, 2♂1♀。
 多良間島, 1982-i-21, 2♂。
 石垣島(宮良), 1979-vii-25, 5♂4♀。
 西表島(大富), 1982-vii-29, 2♂, 小林正明; 1981-x-30, 1♀, 富永修。
 与那国島, 1983-iii-16, 2♂2♀; 1983-vi-2, 1♀, 丹羽力。

琉球列島の *Mecopoda* 属は本種のみで, 近似種のクツワムシは棲息していない。

本州・四国・九州。台湾。

15. *Hexacentrus* sp. タイワンウマオイ

奄美大島(竜郷), 1975-vii-9, 1♂, 富永修。
 沖縄島(与那川), 1978-vi-20, 3♂1♀; (首里), 1979-vi-25, 4♂3♀。
 宮古島, 1981-vi-21, 2♂, 岡徹。
 石垣島, 1962-viii-8, 1♂, 岸勘治。
 西表島(祖納), 1982-vii-26, 3♂, 小林正明; (大原), 1977-viii-4, 1♀, 杉本武。
 与那国島, 1982-vii-23, 3♂2♀, 小林正明。
 種子・屋久島以北に棲息する *H. unicolor* ハタケノウマオイよりも短かく気ぜわしく“シッコ・シッコ”と鳴き, 琉球列島においては本種と混同されるような種はいない。

台湾。

*16. *Hexacentrus* sp. アシグロウマオイ

沖縄島(与那), 1978-vii-25, 4♂; (石川), 1982-vii-9, 5♂; (与那), 1982-viii-29, 5♂1♀。
 座間味島, 1977-vii-21, 3♂。

宮古島, 1981-viii-18, 3♂; 岡徹。

我が国においては筆者により1977年に座間味島で発見されたのを機にその後, 沖縄島, 宮古島からも発見された。褐色型のみが採集され, 緑色型はただの1頭も目撃且つ採集されていない。

台湾。

*17. *Phisis* sp. マングローブウマオイ (新称)

西表島(仲間川), 1982-xi- , 14♂10♀, 佐藤文保。

我が国未記録の属で, マングローブ樹上に棲息し, 9月頃から12月に成虫は多い。太平洋諸島には本種に近縁の *Phisis pectinata* (GUERIN) トゲアシクサキリが棲息しているというが, 本種は明らかにウマオイ亜科に属するので表記の和名にした。

18. *Euconocephalus thunbergi* (STÅL) クビキリギス

沖永良部島, 1964-vii-25, 1♀, 小野武比古。
 伊平屋島, 1982-iii-22, 1♀, 富永修。
 沖縄島(与那川), 1978-xii-10, 1♂1♀; (首里), 1979-i-26, 1♂2♀。
 渡名喜島, 1978-iv-28, 1♀, 小浜継雄。
 渡嘉敷島, 1974-xii-1, 2♂1♀, 紫田保彦。
 北大東島, 1983-i-28, 4♂2♀。
 南大東島, 1983-ix-14, 3♂3♀。
 宮古島, 1981-vi-21, 1♂1♀, 岡徹。
 石垣島, 1982-viii-26, 2♂1♀。
 西表島, 1975-vi-20, 1♀, 布村昇。
 与那国島, 1983-iii-16, 3♂2♀。
 日本固有種。本州・四国・九州・対馬。

19. *Euconocephalus pallidus* (REDTENBACHER) オガサワラクビキリギス

沖縄島(与那), 1980-iii-21, 1♂2♀; (首里), 1981-i-15, 1♂1♀。
 北大東島, 1983-i-28, 3♂4♀。
 南大東島, 1983-ix-14, 2♂1♀。
 宮古島, 1981-ix-22, 1♂1♀, 岡徹。

石垣島, 1982-VIII-26, 1♂1♀。

与那国島, 1983-III-16, 3♂10♀。

前種に酷似するが, 体は細長く, ♀の産卵管も長い。前翅端は尖り, 前種のように斜めに截断されない。

九州・四国・小笠原(父島)。台湾, 中国, インド, ハワイ。

20. *Euconocephalus insulanus* REDTENBACHER タイワンクビキリギス?

粟国島, 1978-VII-4, 1♀, 谷口。

前二種に比し頭頂突起長く, 前翅端は前二種の中間で, 現在のところ粟国島からのみ知られている。

台湾。

21. *Xestophrys horvathi* BOLIVAR シブイロカヤキリモドキ

奄美大島(山間), 1980-VI-10, 1♀, 岡田正哉。

沖縄島(首里), 1980-I-16, 1♂; 1982-VIII-16, 1♂。

瀬底島, 1982-VII-20, 1♂1♀。

石垣島, 1976-XII-19, 1♂, 紫田保彦。

西表島, 1980-XII-5, 2♀, 岡田正哉。

与那国島, 1982-VII-23, 1♂, 小林正明。

第二次世界大戦前の本には“クビキリバッターモドキ”の名が付いている。顔面は黒褐色で胸部側面の脚に接する部分も黒條をなす。本州や九州産よりも琉球列島産はひと回り大きい。

千葉県以南の本州・四国・九州。太平洋の熱帯の島々からニューギニア。

*22. *Pyrgocorypha* sp. リュウキュウカヤキリモドキ(新称)

沖縄島(本部町), 1986-V-4, 1♂。

瀬底島, 1983-V-3, 1♂; 1986-V-4, 3♂; 1986-V-10, 1♂。

Pyrgocorypha 属が我が国から記録されるのはこれが初めてである。本種は台湾の *P. formosana*

(カヤキリモドキ, 別名ズトガリクビキリ)に酷似するが, その異同を確認できなかったため sp. にした。ズトガリクビキリの名が示すとおり, 本種の頭頂突起を背方から見ると鋭い三角形をしていることと, 前肢と触角は黄色がかっている所以他種とは容易に区別できる。

*23. *Agraecia* sp. リュウキュウヒサゴクサキリ(新称)

沖縄島(国頭村), 1984-IX-5, 1♀。

瀬底島, 1982-VIII-1, 1♀。

Agraecia 属が琉球列島から記録されるのはこれが初めてである。体の大きさ, 体形等が九州以北のヒサゴクサキリとは違うため表記の和名にしたが, 詳細は標本の数を増やし検討する必要がある。

24. *Conocephalus maculatus* (LE GUILLOU) ホシササキリ

奄美大島(湯湾岳), 1980-XI-22, 5♂, 土井仲治郎。

沖縄島(首里), 1977-VI-3, 3♂4♀; (羽地大川), 1980-X-10, 1♀, 加納康嗣。

瀬底島, 1982-VIII-1, 3♂4♀。

座間味島, 1977-VII-21, 2♂2♀。

宮古島, 1981-IX-7, 2♂6♀。

石垣島, 1976-XII-8, 1♂1♀, 紫田保彦; 1976-VI-21, 1♀, 宮武頼夫; 1982-VII-30, 2♂, 小林正明。

西表島, 1975-XII-12, 1♂, 紫田保彦; 1982-VIII-23, 4♂6♀。

九州以北では年1化であるが, 沖縄島では3~4化しているものと思われる。

本州・四国・九州。アフリカ, マレー半島, ニューギニア, オーストラリアにかけての旧世界の熱帯に分布。

25. *Conocephalus gladius* (REDTENBACHER) オナガササキリ

沖縄島(与那), 1978-XI-20, 1♂2♀; (羽地

大川), 1980-X-11, 1♂1♀, 加納康嗣。

産卵管が長い(和名の由来)ので本種の♀は簡単に同定できる。北方系の種とされ、沖縄島から採集されるのは珍しく、九州以北の種とは別種かも知れない。

本州・四国・九州。朝鮮, 旧満州南部。

26. *Conocephalus japonicus* (REDTENBACHER)

コバネササキリ

沖縄島(半地), 1983-VIII-26, 2♂3♀。

南大東, 1983-IX-14, 2♂1♀。

石垣島, 1976-VI-21, 1♂, 宮武頼夫; (オモト山麓), 1985-XI-16, 4♂3♀。

稀に長翅型が出現し、沖縄島からも採集されている。

湿地を好み水田地帯に多い。本州産とは別種の可能性がある。

北海道・本州・四国・九州。旧満州南部, 中国, 台湾。

27. *Conocephalus melas* (HAAN) ササキリ

沖縄島(呉我山), 1978-VII-12, 7♂6♀; (羽地大川), 1980-X-10, 1♀, 加納康嗣。

石垣島(名蔵), 1981-VI-22, 2♂3♀, 小林正明; 1985-XI-16, 3♂1♀。

西表島, 1981-X-30, 2♂1♀, 冨永修。

若齢若虫は赤と黒のコントラストが美しく、また、中・老齢若虫は緑がかったきれいな若虫であるが、成虫になるとただのササキリとなる。

本州・四国・九州・種子島・屋久島。中国, 台湾, インド, フィリッピン等東洋熱帯。

*28. *Leptoteraura* sp. オキナワヒメツユムシ (仮称)

沖縄島(与那覇岳), 1981-XII-31, 2♂1♀, 藤本艶彦; (与那川), 1985-VI-22, 2♂2♀。

♂は尾毛が左右でほぼ面対称であること, 上翅が体長に比し短いこと, 尾毛が体長に比し巨大であること等により本州のヒメツユムシと区別できる。

*29. *Leptoteraura* sp. ヨナグニヒメツユムシ (仮称)

与那国島(久部良), 1982-VII-23, 1♂, 小林正明。

前胸背肩部が丸みをおびること, 前翅背部の黄褐色線は明瞭でないこと, 尾毛の形態等によりヒメツユムシ, オキナワヒメツユムシと区別できる。現在のところ, 与那国島のみから知られている。

*30. *Xiphidiopsis* sp. フトオビササキリモドキ (仮称)

石垣島(オモト山), 1980-III- , 1♂1♀, 河北均; (オモト山), 1985-XI-15, 1♀。

与那国島, 1982-VII-23, 2♂2♀, 小林正明。

体色は緑色, 頭頂から前胸背, 腹部背面にかけて濃褐色の太い帯がある(仮称の由来)。後脛節上側に2例の棘が, 先端には上側に1対, 内側に2対の棘を有し, 前翅は短く前胸背に隠れる。他のササキリモドキ同様樹上性で肉食性の強い種である。

31. *Gampsocleis ryukyuensis* YAMASAKI

オキナワキリギリス

沖縄島(呉我山), 1977-VII-20, 2♂1♀; (羽地), 1980-VI-26, 6♂5♀。

伊江島, 1983-VI-15, 4♂3♀。

瀬底島, 1981-VII-20, 10♂8♀。

宮古島, 1976-VI-27, 1♂, 宮武頼夫。

伊良部島, 1981-VII-5, 1♂, 岡徹。

本州や九州に棲息している *G. buergeri* キリギリスに比べ大形で翅が長く, 体長と翅長比, 体長と後脚脛節比等において差があることから1982年に新種として記載された。1978年来, 石垣島や西表島において棲息調査をしているが未だ確認されていないことから, 八重山群島にはいないものと思われる。

GRYLLACRIDIDAE コロギス科

このグループは頭頂に溝なく, 非常に長い触角

を有す。跗節は扁平で、通常跗節盤をもつ。多くの種は木の葉をつづり合わせた巣の中に潜み、夜行・動物食性である。5種が記録されている。

1. *Neanias magnus* MATSUMURA et

SHIRAKI コバネコロギス

トカラ宝島, 1985-VI-28, 1♀, 石原伸宏。
沖縄島(与那覇岳), 1977-XI-19, 1♂1♀,
日浦勇; (呉我山), 1980-XII-2, 1♂3♀。

石垣島(オモト岳), 1962-VIII-8, 1♂, 岸勘治;
(オモト岳), 1981-X-8, 1♀。

西表島, 1975-XII-11, 1♀, 柴田保彦; 1983-I-23, 2♀。

波照間島, 1983-VI-20, 1♂, 清水清市。

赤褐色の地色に頭頂背面から腹部背面にかけて黒色の色斑のある美しい種である。

本州・四国・九州。台湾。

※ 2. *Neanias* sp. オオコバネコロギス(新称)

与那国島(久部良), 1982-VII-22, 1♂1♀,
小林正明。

前種とは体の大きさや色斑, 前翅の形や大きさ, 尾毛の形等に差があるという。与那国島のみから記録されている。

3. *Nippancistroger testaceus* (MATSUMURA et SHIRAKI) ハネナシコロギス

奄美大島(湯湾岳), 1970-VI-27, 1♂, 柴田保彦。

沖縄島(与那川), 1982-VII-3, 2♂; (呉我山), 1984-V-5, 1♂。

石垣島(オモト山), 1984-VII-20, 1♂; 1985-VI-15, 2♂。

和名のとおり無翅で, 若虫越冬である。

北海道南端部・本州・四国・九州。

※ 4. *Prosopogryllacris* sp. マルモンコロギス(新称)

トカラ宝島, 1985-VI-22, 1♀, 石原伸宏。

奄美大島(中央林道), 1980-VII-3, 3♂1♀,
伊藤徳造; (山間), 1980-VI-10, 1♂1♀, 岡

田正哉; (湯湾岳), 1980-VI-12, 1♂, 岡田正哉。

加計呂摩島, 1985-VII-13, 1♀, 石原伸宏。

体は褐色。前額中央に直径2mmほどの黄色紋(新称の由来)がある。前翅の長さは27mm前後。

※ 5. *Prosopogryllacris* sp. ヒノマルコロギス(新称)

石垣島(バナ岳), 1979-V-18, 1♀, 岡田正哉; (川平), 1984-VII-21, 1♀, 上島法博。

全体褐色。頭頂より翅端まで47mmと大型である。前額中央に直径2.7mmの橙黄色の丸紋がある。(新称の由来)。前翅は31mm。

RHAPHIDOPHORIDAE カマドウマ科

このグループは例外なく無翅で前脛節に鼓膜はない。頭頂突起狭く溝があり, 触角基部は互いに強く接近する。多くは洞穴や林床に棲む。琉球列島からは8種が記録されているが, この2倍はいるものと思われる。また, これまで琉球列島から報告されているカマドウマ(*Diestrammena apicalis*)やマダラカマドウマ(*D. japonica*)は棲息していないものと思われる。

※ 1. *Diestrammena* (?) sp. オキナワカマドウマ(仮称)

沖縄島(辺土名), 1981-VI-28, 1♀, 小林正明; (与那), 1979-XI-9, 2♂1♀; (与那川), 1983-XII-10, 1♀; (羽地大川), 1985-XI-23, 2♀。

小型。前・中脛節末端下側のトゲは2本で中央の小さいのは欠けている。比較的明るい林道や河川沿いの林床に多い。

※ 2. *Diestrammena* (?) sp. ヨナグニカマドウマ(新称)

与那国島(祖納), 1982-III-15, 5♂6♀; 1984-III-13, 2♂2♀。

全体茶褐色。洞穴にて採集。3月というのに孵化若虫から成虫まで棲息していた。このことから

非休眠性の昆虫で年中繁殖しているものと思われる。与那国島のみから記録されている。

※ 3. *Diestrammena* sp. アマミマダラウマ (仮称)

奄美大島(湯湾岳麓), 1964-VIII-1, 1♂1♀, 柴田保彦。

体背面のまだらは発達が悪く, 全体赤褐色。湯湾岳麓のマンガン廃坑から得られた個体のみ。

※ 4. *Diestrammena* sp. ヤエヤママダラウマ (仮称)

石垣島(バンナ岳), 1976-XII-18, 2♂2♀, 柴田保彦。

体背面は褐色強く, まだらは明瞭でない。加藤(1932)のタイワンカマドウマとの関連を検討する必要あり。

※ 5. *Diestrammena* sp. ヤエヤマオオカマドウマ (仮称)

石垣島(伊野田), 1984-VIII-23, 2♂2♀, 上島法博・市川顕彦; (伊野田), 1986-IV-28, 3♂2♀。

西表島(浦内川), 1981-X-31, 1♂1♀, 富永修; (上原), 1986-IV-26, 3♂1♀。

我が国のカマドウマ科昆虫では最大であろう。体は赤褐色で前胸の光沢は少なく, 体全体のまだらは不鮮明である。石垣島では洞穴から, 西表島では原生林から採集した。

※ 6. *Diestrammena* sp. クメジマカマドウマ (新称)

久米島(具志川村), 1986-III-28, 3♂6♀。

体全体褐色でまだらはほとんど無い。やや大形で, 九州以北に産するカマドウマ(*D. apicalis*)に酷似する。3月末現在で孵化若虫から成虫までみられることから非休眠性と思われる。久米島のみから知られている。

※ 7. *Diestrammena* (?) sp. イヘヤカマドウマ (新称)

伊平屋島, 1985-I-22, 5♂6♀。

全体茶褐色で洞穴棲。伊平屋島のみから知られ

ている。

※ 8. *Rhaphidophora* sp. ヤンバルオオハヤシウマ (新称)

沖縄島(奥川), 1977-XI-18, 1♂, 日浦勇; (安波), 1986-VI-3, 2♂3♀。

全身褐色。前肢のヒザには内側に可動トゲがある。後脛節背面のトゲは1列に20本前後ある。

GRYLLIDAE コオロギ科

キリギリス亜目のうち, 多少扁平で雄の前翅脈は摩擦発音機構のために大きく変化する。体色は暗色で目立たぬものが多い。跗節は3節, 産卵管はキリ状, 複眼は発達し, 後肢基節は広く相離れる。体長5mm以上のグループを言う。琉球列島からは48種が知られ, この倍はいるものと思われる。

1. *Tartarogryllus* (?) *ritsemae* (SAUSURE) クロツヤコオロギ

奄美大島(新村), 1980-VI-9, 2♂1♀, 岡田正哉; (湯湾岳), 1980-VI-12, 1♀, 岡田正哉。

CHOPARD (1961)によって *Tartarogryllus* に入れられているが, 再検討を要する。琉球列島では奄美大島のみから記録されている。

関東以南の本州・四国・九州。

2. *Velarifictorus* sp. リュウキュウツツレサセコオロギ

奄美大島(湯湾), 1970-VI-26, 2♂3♀, 柴田保彦。

沖縄島(与那川), 1978-V-5, 2♂2♀; (羽地大川), 1980-X-10, 1♂1♀, 加納康嗣。

宮古島(平良市), 1981-VII-12, 1♂1♀, 岡徹。

石垣島(名蔵), 1981-VI-22, 4♂, 小林正明; 1983-VIII-26, 6♂4♀。

西表島(古見), 1981-VI-27, 3♂3♀, 小林正明。

松浦(1978)は形態や鳴き声に差がないのでナツノツツレサセの亜種にするのが適当かも知れないと述べているが, 本種は年2化(5月頃と11月

頃)であること等生態的に違うため別種とした。

奄美大島以南の琉球列島。台湾, インド北部。

3. *Velarifictorus* sp. コガタコオロギ

トカラ中之島, 1953-VI-10, 1♂, 中根猛彦。

奄美大島(名瀬), 1960-VII-20, 1♀, 岸勘治。

沖縄島(首里), 1980-V-5, 2♂3♀。

宮古島(平良市), 1981-VI-7, 2♂1♀, 岡徹。

与那国島, 1982-III-13, 8♂6♀; 1984-III-14, 4♂4♀。

市川(1983)は♂交尾器がセイロン産の *Velarifictorus albipalpis* (CHOPARD, 1969) に酷似する旨報告している。本種は前種に酷似するが、前種にある後頭部(頭部背面の胸より)の数本の淡い縦線が無く黒いこと、触角間の白い“八”の字紋が縮まって、触角の上側に白い点となっている等で区別できる。また、前種が湿り気のある所を好むのに対し、本種は比較的乾燥している所を好む。

関東以南の本州・四国・九州・琉球列島。東南アジア, セイロン。

* 4. *Modicogryllus* sp. リュウキュウヒメコオロギ(新称)

沖縄島(首里), 1981-X-18, 1♂。

市川はヒメコオロギとしたが、形態や色が異なること、本州や四国と分布上連続性がないこと等により表記のようにしたが、いずれにしても標本数を増やし再検討する必要がある。筆者所蔵の1♂のみが知られている。

5. *Modicogryllus* sp. タンボコオロギ

トカラ中之島, 1953-VI-3, 1♀, 上野俊一。

沖縄島(安波), 1978-V-29, 4♂4♀, 小浜継雄; (南風原), 1980-V-5, 2♂1♀。

久米島(具志川), 1983-V-15, 3♂3♀。

多良間島, 1982-I-21, 2♂3♀。

与那国島(久部良), 1982-VII-24, 1♂, 小林正明; (祖納), 1983-III-15, 4♂2♀。

これまで *Velarifictorus* 属に含めていたが、

市川(1983)に従って表記のようにした。複眼間に黄白色の直線(横条)が顕著であるため「イチモンジコオロギ」の別名がある。

本州・四国・九州・琉球列島。台湾, 東南アジア, インド。

6. *Modicogryllus confirmatus* (WALKER)

(?) ヒメコガタコオロギ

トカラ宝島, 1953-V-26, 1♂1♀, 宮本正一。

奄美大島(名瀬), 1970-VI-25, 1♂, 柴田保彦。

沖縄島(安波), 1978-V-29, 1♂, 小浜継雄; (首里), 1979-IV-20, 3♂1♀。

宮古島(平良), 1981-VIII-20, 1♂, 岡徹。

石垣島(宮良), 1983-VIII-26, 5♂7♀。

西表島(浦内川), 1981-VI-24, 1♂1♀, 小林正明; (上原), 1983-VIII-23, 4♂5♀。

与那国島, 1982-VII-23, 1♂, 小林正明。

これまでは *Velarifictorus* 属に入れていたが、市川(1983)に従い表記のようにした。前種が水田の畦や湿地に棲むのに対し、本種はコガタコオロギ同様比較的乾燥地に棲む。

琉球列島。台湾, フィリピン。

7. *Loxoblemmus* sp. リュウキュウオカメコオロギ

沖縄島(安波), 1976-XII-16, 2♂2♀, 柴田保彦; (知念), 1978-V-3, 5♂6♀; (名護), 1980-X-11, 1♂1♀, 加納康嗣。

宮古島(野田), 1980-XI-10, 1♂, 岡徹。

石垣島(バンナ岳), 1976-VI-23, 1♂1♀, 宮武頼夫; (名蔵), 1981-VI-22, 4♂7♀, 小林正明; (宮良), 1982-VIII-26, 2♂5♀。

西表島(大富), 1982-VII-27, 4♂1♀; 小林正明; (大原), 1981-X-30, 1♂, 冨永修。

与那国島(久部良), 1982-VII-23, 1♂, 小林正明; (祖納), 1983-V-18, 4♂5♀。

琉球列島から報告されているオカメコオロギ属は

本種のみである。

奄美大島以南の琉球列島。台湾, タイ, マレイ, ビルマ, インド。

8. *Plebiogryllus guttiventris* WALKER チビ
クロコオロギ

沖縄島(南風原), 1978-VII-1, 3♂1♀; (首里); 1983-I-15, 3♂3♀。

津堅島, 1984-VII-26, 6♂5♀。

宮古島(平良), 1982-I-24, 3♂4♀。

多良間島(塩川), 1982-I-21, 4♂4♀。

石垣島(宮良), 1982-VIII-25, 9♂8♀。

西表島(上原), 1982-VIII-23, 5♂6♀。

与那国島(祖納), 1983-III-15, 3♂3♀。

タイワンエンマコオロギを小さくしたような黒色の中型コオロギ。本種の同胞種としてインド北部にはテンジクチビクロコオロギが, また, ジャワやバリ島にはバリチビクロコオロギが棲息しているという。

台湾, フィリピン, マレイ, タイ, インドシナ半島。

9. *Gryllodes sigillatus* (WALKER) カマド
コオロギ

沖縄島(与那), 1977-XI-10, 3♂4♀; (首里), 1980-VII-7, 4♂1♀。

屋我地島, 1981-VIII-25, 7♂5♀。

南大東島, 1982-IX-14, 4♂4♀。

久米島, 1983-III-28, 3♂。

宮古島(野田), 1980-IX-18, 2♂, 岡徹。

与那国島, 1982-VII-23, 3♂2♀, 小林正明。

本州や九州では屋内性の昆虫であるが, 琉球列島では野外の昆虫で, 年中鳴き声が聴ける。

本州・四国・九州・琉球列島。台湾, ハワイ, オーストラリア, 中南米, ヨーロッパ等世界各地に分布。

10. *Teleogryllus occipitalis* SERVILE タイ
ンエンマコオロギ

トカラ中之島, 1953-VI-8, 1♂1♀, 宮本正

一。

奄美大島(湯湾岳), 1970-VI-27, 2♀, 柴田保彦; (名瀬), 1978-IV-17, 3♂1♀。

沖縄永良部島(知名町), 1964-VII-27, 1♂1♀, 筒井嘉隆。

伊平屋島, 1978-II-20, 2♂1♀。

伊是名島, 1978-II-23, 1♂1♀。

沖縄島(首里), 1965-V-5, 2♂1♀; (呉我山), 1977-V-5, 3♂3♀; (名護), 1980-X-11, 1♂, 加納康嗣。

北大東島, 1980-II-14, 5♂8♀。

南大東島, 1980-X-24, 6♂7♀。

久米島, 1983-III-28, 3♂2♀。

渡嘉敷島, 1974-XI-30, 1♂, 柴田保彦。

宮古島(平良), 1978-VIII-7, 3♂4♀。

多良間島, 1982-I-21, 3♂1♀。

石垣島(宮良), 1979-VII-25, 6♂5♀。

西表島(大原), 1978-II-16, 3♂6♀。

与那国島, 1980-II-26, 2♂3♀。

琉球列島には本種と混同するような種は棲息していない。

本州(三重以南)・四国・九州・琉球列島。台湾, フィリピン等の東洋熱帯。

11. *Gryllus bimaculatus* (DE GEER) フタホ
シコオロギ(クロコオロギ)

北大東島, 1980-II-14, 6♂8♀。

南大東島, 1980-X-24, 9♂8♀。

宮古島(平良), 1978-VIII-7, 4♂4♀。

多良間島, 1982-I-21, 2♂1♀。

石垣島(宮良), 1979-VII-25, 8♂11♀,

西表島(大原), 1978-II-16, 6♂9♀。

与那国島, 1983-III-15, 3♂4♀。

鬼界島(松浦, 私信)や沖縄島(東, 私信)にも棲息することのだが, 確認できなかったので本報ではこれらの島は除いた。マレー半島, ビルマ, インド, セイロン等のものはナンヨウフタホシコオロギとして分けられている。

台湾。

12. *Scleropterus* sp. クマスズムシ

沖縄島(羽地大川), 1984-XI-23, 1♂。

渡嘉敷島, 1974-XII-2, 1♀, 柴田保彦。

本州産と琉球列島産とが同一種かどうか個体数を増やして検討する必要あり。ここでは同一種として扱った。

本州南部・四国・九州・対馬。

*13. *Duolandrevus* sp. オキナワクチキコオロギ(新称)

奄美大島(瀬戸内), 1975-VII-8, 1♂, 富永修。

沖縄島(玉城), 1977-XI-23, 2♂; (大宜味), 1979-V-20, 1♂1♀

久米島, 1983-III-28, 2♂1♀。

奄美大島から沖縄島にかけて分布するクチキコオロギをネッタイクチキコオロギと称していたが適切でないので表記のように改めた。

*14. *Duolandrevus* sp. ヤエヤマクチキコオロギ(新称)

石垣島(オモト岳), 1975-VII-24, 1♂1♀; (八重守之塔), 1975-XII-13, 1♂1♀, 柴田保彦; (開南), 1979-VII-25, 3♂1♀。

西表島(大原), 1978-II-17, 1♂; (上原), 1982-VIII-23, 5♂3♀。

前種に比べ大型で, Genitalia や Vein も違う。

15. *Xenogryllus marmoratus* (HAAN) マツムシ

沖縄島(首里), 1971-X-10, 1♂; (与那), 1977-XI-17, 2♂, 日浦勇; (糸満), 1980-X-1, 1♂1♀。

本州や九州産は「チン・チロリン」と鳴くのに対し, 琉球列島産は「チン・チン・チン・チロリン」と鳴くこと, Vein に差があること等から琉球列島から東洋熱帯にかけて分布するものを「タイワンマツムシ」とする学者もいるが, 東京産と沖縄産の F_1, F_2 が正常に成育する(松浦, 私信)ことから少なくとも沖縄産と本州産は同一種と考え

ている。沖縄島以外から採集されていないのは大変興味ある問題であり, これからの調査に期待したい。

本州・四国・九州・対馬。台湾・紅頭嶼, シンガポール。

16. *Cardiodactylus novaeguineae* (HAAN)

マダラコオロギ

奄美大島(笠利), 1975-IX-23, 3♂1♀。

沖縄島(与那), 1977-XI-15, 11♂11♀, 日浦勇; (呉我山), 1976-X-10, 9♂10♀; (羽地大川), 1980-X-10, 1♂1♀, 加納康嗣。

宮古島(平良), 1981-IX-15, 3♂5♀, 岡徹。

石垣島(オモト岳), 1979-VII-25, 4♂7♀;

(開南), 1985-XI-16, 3♂4♀。

西表島(大原), 1982-VIII-23, 5♂7♀。

琉球列島のほとんどの島に棲息しているものと思われる。

台湾からマレー諸島, ニューギニア, 北オーストラリアまでの東洋熱帯。

17. *Phaloria ryukyuensis* ÔSHIRO リュウキュウマツムシ

沖縄島(辺野喜), 1978-VII-22, 1♂, 小浜継雄; (与那川), 1978-XI-5, 3♂2♀; (汀間川), 1980-VIII-10, 3♂2♀; (羽地大川), 1980-X-10, 2♂1♀, 加納康嗣。

石垣島(オモト岳), 1980-III-17, 1♂; (開南), 1982-VIII-27, 6♂3♀; (名蔵), 1981-VI-22, 1♀, 小林正明。

本種は1956年に白水隆により奄美大島に棲息する旨報告されたのが最初で, その後, 松浦や筆者らによって徳之島, 西表島でも鳴き声が確認されている。

*18. *Lebinthus* sp. コバネマツムシ(仮称)

石垣島(名蔵), 1980-XII-8, 1♂, 岡田正哉。

我が国からは上記の1♂のみが得られている。外見はマダラコオロギに似るが, Genitalia はマツムシに似るといふ。石垣島を含めた八重山諸島

においてはマツムシの代替種として本種が棲息しているのかも知れない。

19. *Aphonoides japonicus* (SHIRAKI) マツムシモドキ

沖縄島(羽地大川), 1980-X-10, 1♀, 加納康嗣; (呉我山), 1982-XI-3, 1♂1♀。

石垣島(バンナ岳), 1980-VII-30, 1♀, 小林正明。

本州(近畿以内)・四国・伊豆七島。

*20. *Aphonoides* sp. アカマツムシモドキ(仮称)

沖縄島(名護岳), 1980-X-11, 2♂1♀, 加納康嗣。

石垣島, 1980-VII-30, 1♂, 小林正明。

西表島(上原), 1982-VIII-22, 1♂1♀。

*21. *Aphonoides* sp. ヤエヤママツムシモドキ(仮称)

石垣島(名蔵), 1981-VI-21, 1♂, 小林正明。

与那国島(久部良), 1982-VII-24, 1♀, 小林正明。

前記 *Aphonoides* 属3種は前翅の色斑, 亜生殖板, 後肢等の形態や色斑で区別できるが省略した。

*22. *Paticus* (?) *Karnyi* SHIRAKI カルニ一カヤコオロギ(新称)

石垣島, 1979-V-16, 1♀, 岡田正哉; (バンナ岳), 1982-VII-30, 1♂1♀, 小林正明。

西表島(大原), 1977-VIII-4, 1♂1♀, 杉本武; (古見), 1982-VII-25, 3♂, 小林正明; (上原), 1982-VIII-22, 5♂4♀。

与那国島(祖納), 1982-VII-23, 5♂6♀, 小林正明。

Paticus (?) 属が我が国から報告されるのは今回が初めてである。チガヤを主とした草地等をスィーピングすると簡単に採れる。マツムシと同様な生活をしているものと思われる。本州・四国・九州等のカヤコオロギは全くの別種である。

台湾・紅頭嶼。

23. *Oecanthus indicus* SAUSSURE ヒロバネカントン(タイワンカントン)

宮古島(富名腰), 1981-VIII-24, 1♀, 岡徹。

石垣島(宮良), 1971-XI-10, 2♂。

西表島(上原), 1982-VIII-22, 3♂1♀。

いろいろな学名が当てられているが, 本報では表記のようにした。

本州(関東以南)・四国・九州。台湾。

24. *Oecanthus* sp. ヤエヤマチャイロカントン(仮称)

石垣島(宮良), 1982-VIII-26, 2♂。

八重山以南の東洋熱帯に分布するという。

25. *Oecanthus* sp. ナンバンミドリカントン(仮称)

八重山地方に棲息している(日浦, 1977)とのことだが, 筆者はその詳細を知らない。

26. *Paratrigonidium bifasciatum* (SHIRAKI) クサヒバリ

沖縄島(与那川), 1979-VIII-30, 2♂2♀; (羽地大川), 1982-IX-15, 1♂。'

昼夜を問わず透き通った声で「フィリリリー」と続けて鳴く。早朝から鳴くため「アサズ」の名もある。

本州(関東以南)・四国・九州・対馬。

27. *Paratrigonidium* (?) sp. コガタクサヒバリ(仮称)

西表島(大原), 1982-V-3, 1♂, 冨永修。

前種よりも小型で, ♂の前翅には暗褐色斑がなく後腿筋外面の黒条は1本である(前種は2本)という。

*28. *Anaxipha* sp. ネットイキンヒバリ(仮称)

沖縄島(羽地大川), 1980-VIII-1, 3♂1♀; (呉我山), 1982-VI-7, 1♂1♀。

北大東島, 1983-I-30, 4♂6♀。

石垣島(宮良), 1982-VIII-26, 4♂2♀。

西表島(上原), 1982-viii-23, 3♂2♀。

*29. *Anaxipha* sp. ムナグロキンヒバリ(仮称)

沖縄島(半地), 1983-viii-27, 5♂6♀; (知念), 1985-vii-25, 2♂4♀。

胸部は薄い黒色で他は全体紫がかり, 顔に口ひげのような黒帯あり。水田地帯に多い。

30. *Homoeoxipha lycoides* (WALKER) ヤマトヒバリ

奄美大島(字検), 1958-vii-15, 1♂, 鳥越憲三郎。

沖縄島(勝山), 1977-xi-20, 1♀, 日浦勇; (汀間川), 1978-v-13, 3♂2♀; (与那川), 1979-viii-30, 2♂1♀。

本州・四国・九州。

*31. *Homoeoxipha* sp. ネットイヤマトヒバリ(仮称)

石垣島(オモト山麓), 1985-xi-15, 3♂1♀。

沖縄島産より1回り小形で色斑も異なること等から小林(1985)は前種と区別している。日浦(1977)はヤマトヒバリの分布を東洋熱帯としているが, これは本種の分布を言っているのであろう。

八重山以南東洋熱帯まで分布?

32. *Trigonidium cicindeloides* RAMBUR クロヒバリモドキ

沖縄島(塩川), 1977-xi-20, 1♂, 日浦勇; (与那), 1977-xi-17, 1♂, 日浦勇; (呉我山), 1980-viii-10, 4♂10♀。

久米島(具志川), 1983-iii-15, 4♂4♀。

北大東島, 1983-i-30, 4♂7♀。

南大東島, 1980-x-25, 3♂5♀。

石垣島(宮良), 1982-viii-26, 6♂4♀。

西表島(上原), 1982-viii-23, 5♂4♀。

前・中脚の腿節は茶色で脛節は黒色である。琉球列島の全域に棲息しているものと思われる。

屋久島以南から琉球列島。南インド, スリラン

カ, アフリカ。

33. *Trigonidium pallipes* STÅL オキナワヒバリモドキ

トカラ宝島, 1953-v-26, 2♂2♀, 宮本正一。

奄美大島(住用), 1964-vii-31, 2♀, 筒井嘉隆。

沖永良部島(知名), 1964-vii-29, 1♀, 柴田保彦。

沖縄島(与那), 1977-xi-15, 1♂1♀; (百里), 1982-vii-28, 4♂3♀。

久米島(具志川), 1983-iii-15, 3♂4♀。

北大東島(中野), 1983-i-30, 6♂5♀。

石垣島(宮良), 1982-viii-26, 5♂7♀。

西表島(上原), 1982-viii-23, 10♂8♀。

前種に酷似するが, 前・中脚の脛節は腿節と同じ茶色であること, 前翅の横脈が多い等により区別できる。長翅型はよく燈火に飛来する。

小笠原諸島。

*34. *Pteronemobius* sp. ネットイヤチスズ(仮称)

トカラ中之島, 1953-v-25, 1♂, 宮本正一。奄美大島(住用), 1972-i-9, 1♀, 柴田保彦。沖縄島(半地), 1983-viii-27, 6♂7♀; (知念), 1984-vii-10, 3♂2♀。

西表島(古見), 1981-vi-26, 1♂, 小林正明。

与那国島(旭川), 1980-ii-26, 3♂1♀。

九州以北のヤチスズが休眠するのに本種は非休眠で年中若虫や成虫が見られる。東洋熱帯のものと同一種と思われる。

35. *Pteronemobius* sp. リュウキュウチビスズ(仮称)

沖縄島(辺野喜), 1977-xi-16, 1♂, 日浦勇; (与那), 1982-vii-28, 3♂4♀。

渡嘉敷島, 1974-xii-1, 1♂, 柴田保彦。

日浦(1977)は奄美大島から八重山諸島に分布するという。

36. *Dianemobius nigrofasciatus* (MATSUMURA) マダラスズ

奄美大島(名瀬), 1970-VI-30, 1♀, 柴田保彦。
北海道・本州・四国・九州・対馬。

37. *Dianemobius fascipes* (WALKER) リュウキュウマダラスズ(ネッタイマダラスズ)

西表島(大富), 1982-VII-29, 5♂4♀, 小林正明;(上原), 1982-VIII-23, 4♂7♀。

前種が卵休眠にて越冬するのに比し, 本種は非休眠で, 年中若虫や成虫が見られる。

八重山群島。マレー半島, インド, セイロン等の東洋熱帯。

38. *Dianemobius* sp. リュウキュウシバズズ(ネッタイシバズズ)

沖縄島(与那), 1980-V-5, 3♂1♀;(首里), 1978-VII-13, 2♂6♀。

渡嘉敷島, 1974-XII-1, 2♂1♀, 柴田保彦。

宮古島(平良), 1981-XI-28, 1♂1♀。

石垣島(名蔵), 1981-VI-22, 3♂2♀, 小林正明;(開南), 1982-VIII-26, 4♂5♀。

西表島(上原), 1982-VIII-23, 7♂4♀。

人為的に移された(正木説)という奄美大島名瀬市の一部で発見されるシバズズ *D. mikado* を除いて琉球列島に棲息しているものは全て本種と思われる。九州以北には本種に酷似するシバズズが棲息する。東洋熱帯に分布しているのは *D. taprobanensis* であるという。

*39. *Parapteronemobius daitoensis*

ÔSHIRO ダイトゥミコオロギ(新称)

南大東島, 1983-IX-14, 14♂17♀。

九州以北のナギサズズ, 対馬のツシマナギサズズに比し図体が大きく, 腹部背面に褐色で波形のバンドが各節にある等, 前二者とは明らかに別種。新種として1986年9月発行の「昆虫」Vol.55に載る予定である。

40. *Thetella elegans* KOBAYASHI イソズズ

沖縄島(与那), 1983-XI-27, 1♂。

屋我地島, 1983-VIII-25, 13♂20♀。

津堅島, 1984-VII-20, 10♂12♀。

西表島(祖納), 1982-VII-27, 15♂20♀。小林正明。

与那国島(祖納), 1983-III-15, 1♀。

小林正明により1982年に西表島で発見・記載された。和名のとおり磯や砂浜に棲む。

41. *Marinemobius asahinai* (YAMASAKI) マングローブズズ

石垣島(宮良), 1982-VIII-26, 21♂18♀。

西表島, 1982-VII-21, 1♂, 小林正明;(上原), 1984-VII-22, 2♂3♀。

和名のとおりマングローブ林床に棲み, ♂♀共に無翅で鳴かない。周年若虫や成虫が見られることから非休眠性の昆虫と思われる。

42. *Ornebius Kanetataki* (MATSUMURA) カネタタキ

奄美大島(名瀬), 1982-IV-24, 2♂。

沖縄島(呉我山), 1981-VI-14, 2♂3♀。

宮古島(平良), 1985-XI-13, 2♂。

石垣島(バンナ岳), 1982-VII-30, 2♂1♀, 小林正明;(オモト岳), 1982-VIII-26, 3♂1♀。

西表島(上原), 1982-VIII-24, 2♂2♀。

九州以北のカネタタキに比し大型であるため別種の可能性もあるが, 本報では同一種とした。

本州・四国・九州・伊豆諸島・対馬。

43. *Ornebius bimaculatus* (SHIRAKI) イソカネタタキ

沖縄島(与那), 1981-VI-18, 7♂10♀。

石垣島(宮良), 1982-VIII-26, 2♂3♀。

西表島(大富), 1982-VII-29, 2♂。小林正明;(上原), 1982-VIII-24-24, 4♂4♀。

与那国島(祖納), 1983-V-18, 2♂2♀。

本州・四国・九州。台湾。

*44. *Ornebius* sp. ヤエヤマカネタタキ(仮称)

沖縄島(呉我山), 1981-VIII-20, 10♂12♀。

石垣島(オモト岳), 1982-VIII-26, 4♂3♀。

西表島(浦内川), 1982-VII-27, 4♂4♀, 小林正明; (上原), 1982-VIII-24, 2♂2♀。

与那国島(久部良), 1982-VII-23, 2♂2♀, 小林正明。

♂はオレンジ色の翅が大変美しい。

※45. *Ornebius* sp. ヒルギカネタタキ(仮称)

石垣島(宮良川), 1984-VII-18, 2♂2♀, 上島法博。

西表島(上原), 1984-VII-22, 1♂2♀, 上島法博。

マングローブ樹上に棲み, ♂の前翅は橙黄色でとても美しい。

※46. *Ornebius* sp. ウスグロカネタタキ(仮称)

沖縄島(知念), 1980-VIII-8, 3♀。

♀は全体灰黒色であるが♂は未知。沖縄島のみから知られている。

47. *Ectatoderus annulipedus* (SHIRAKI) アシジマカネタタキ

トカラ宝島, 1953-VI-1, 1♂1♀, 宮本正一。

奄美大島(名瀬), 1982-IV-24, 2♂。

沖縄島(与那), 1977-XI-16, 3♂7♀, 日浦勇; (知念), 1980-X-10, 4♂3♀。

石垣島(オモト岳), 1982-VIII-26, 3♂4♀。

西表島(上原), 1982-VIII-24, 7♂6♀。

本州・四国・九州。台湾。

48. *Tubarama iriomotajimana* YAMASAKI

イリオモテヒメカネタタキ

津堅島, 1984-VII-28, 5♂4♀。

石垣島, 1983-VIII-20, 2♂1♀, 上島法博。

西表島, 1983-VIII-24, 1♂1♀, 上島法博。

砂浜の落葉下に棲息する小形の美しいカネタタキである。1985年12月山崎柄根により新属新種として記載された。

MYRMECOPHILIDAE アリツカココロギ科

体長2~3mm。アリの巣の中に棲む特殊化したココロギ。体は楕円形でずんぐりしている。翅が無いため鳴けず, 前脚に聴覚器もない。周年, 若虫や成虫が見られる。琉球列島からは2種が知られている。

※1. *Myrmecophilus* sp. ダイトゥアリツカココロギ(新称)

北大東島(中野), 1983-I-30, 3♂2♀。

本種の酷似種である *M. sapporensis* (アリツカココロギ) が全体茶褐色であるのに, 本種は黒褐色である。北大東島のみから発見されている。

※2. *Myrmecophilus* sp. ヨナゲニアリツカココロギ(新称)

与那国島(祖納), 1983-III-18, 3♂1♀。

本種の最大の特徴は胸部背側面中央に1本の黄色帯があり, 体色は前種に比しやや淡い茶黒褐色を呈す。与那国島のみから知られている。

GRYLLOTALPIDAE ケラ科

体長30~35mm。湿った土中にトンネルを掘り, 「ボー」と低音で続けて鳴く。♀も鳴くと言うが詳細は分らない。雑食性で, 後翅は長くよく橙火に飛来する。前脚はトンネルを掘るのに都合の良い形になっている。前胸背板は大きく, 産卵管は退化する。琉球列島からは1種のみが知られている。

1. *Gryllotalpa fossor* SCUDDER ケラ

トカラ宝島, 1953-V-29, 1♀, 中根猛彦。

トカラ中之島, 1953-VI-8, 1♂1♀, 宮本正一。

奄美大島(名瀬), 1970-VI-25, 1♂, 柴田保彦。

沖縄島(与那), 1977-VIII-30, 2♂1♀。

石垣島, 1979-V-20, 1若虫, 岡田正哉。

西表島, 1982-VII-26, 1♂, 小林正明。

松浦(私信)によれば、琉球列島産は九州以北産と音色が違うため別種の可能性があるとのこと。

TRIDACTYLIDAE ノミバツタ科

体長4~5mm。全身黒色。後肢腿節は太くよく跳ねる。翅は小さくて飛べない。発音器も聴覚器もない。日当たりの良い湿地に穴を掘って棲む。分類学上はバツタとコオロギの中間に位置する。琉球列島からは2種が知られている。

※ 1. *Tridactylus* sp. オキナワノミバツタ
(仮称)

沖縄島(半地), 1983-viii-27, 2♂。

九州以北の種とは別種と思われるので表記の和名にしたが、個体数を増やして検討する必要あり。

※ 2. *Tridactylus* sp. ヤエヤマノミバツタ
(仮称)

西表島(豊原), 1983-viii-21, 2♂1♀, 上島法博。

与那国島(旭川), 1983-iii-18, 2♂3♀。

触角の先に白い点がある等は前種及び九州以北のノミバツタと異なる。

TETRIGIDAE ヒシバツタ科

菱形をした体長10~25mmの小さなバツタである。生活史等はほとんど判っていない。しばしば奇妙な前胸背板をもつ。分類の遅れているグループである。琉球列島からは10種が知られている。

※ 1. *Euparatettix personatus* (BOLIVAR)
ミナミハネナガヒシバツタ(新称)

沖縄島(与那), 1982-vii-28, 1♂1♀; (半地), 1983-vii-27, 2♂1♀。

北大東島, 1983-i-30, 3♂3♀。

石垣島(カラ岳), 1983-viii-24, 1♂, 市川顕彦。

西表島(祖納), 1983-viii-20, 2♂7♀, 上島法博。

※ 2. *Euparatettix tricarinatus* (BOLIVAR)
ホソハネナガヒシバツタ(新称)

沖縄島(与那), 1982-vii-28, 2♂1♀。

北大東島, 1983-i-30, 3♂3♀。

南大東島, 1983-ix-13, 2♂1♀。

西表島(古見), 1983-viii-21, 1♂, 市川顕彦。

3. *Euparatettix insularis* BEI-BIENKO ハネ
ナガヒシバツタ

奄美大島(日浦, 1977)。

北大東島, 1983-i-30, 3♂4♀。

与那国島, 1983-iii-16, 2♂1♀。

本州・四国・九州・対馬。

4. *Criotettix japonicus* (HAAN) トゲヒシバ
ツタ

沖縄島(半地), 1983-viii-27, 2♂1♀。

本州・四国・九州・対馬。台湾(?)。

※ 5. *Criotettix bispinosus* (DALMAN) タ
イリクトゲヒシバツタ(新称)

石垣島(カラ岳), 1983-viii-24, 1♂1♀, 市川顕彦。

※ 6. *Eucriotettix oculatus* (BOLIVAR) ナガ
レトゲヒシバツタ(新称)

西表島(浦内川), 1982-viii-24, 3♂2♀。

与那国島(祖納), 1983-iii-16, 1♂。

渓流や湿地に棲息する比較的大きなヒシバツタで、複眼が出張っていることからデメトゲヒシバツタともいう。

7. *Austrohancockia platynota* (KARNY) ヒ
ラタヒシバツタ

奄美大島(湯湾岳), 1970-v-27, 1♀, 柴田保彦。

奄美大島以南の琉球列島。台湾。

※ 8. *Apterotettix* sp. チビヒラタヒシバツタ
(仮称)

西表島(浦内川), 1983-viii-22, 1♂1♀。上島法博。

与那国島(祖納), 1983-iii-16, 1♂1♀。

別名をコヒラタヒシバツタとも言う。

※9. *Tetrix* sp. ヒメヒシバツタ(仮称)

沖縄島(与那), 1983-viii-25, 2♂1♀, 市川頭彦。

石垣島(石垣), 1983-viii-19, ♂1♀, 上島法博。

西表島(古見), 1983-viii-21, 2♂2♀, 上島法博。

与那国島(祖納), 1983-iii-16, 2♂1♀。

※10. *Platygalvalidium formosanum* (TINKHAM) イボトゲヒシバツタ(新称)

西表島(浦内川), 1983-viii-22, 1♂1♀, 上島法博。

溪流や湿地に棲息するとう。

PYRGOMORPHIDAE オンブバツタ科

体は長菱形。前翅は長く腹端を越えるが、翅を使って飛ぶことは出来ない。イネ科植物に混じって生活するに適した体形・体色をしている。♂は♀に比べてかなり小さく、♀の背に乗ったままであるのがよく見られるためオンブバツタの名がある。琉球列島からは2種が知られている。

1. *Atractomorpha lata* (MOTSCHULSKY)

オンブバツタ

奄美大島(山間), 1980-vi-10, 1♀, 岡田正哉。

沖縄島(与那), 1977-xi-15, 2♂5♀, 日浦勇。

渡嘉敷島, 1974-xii-1, 1♂2♀, 柴田保彦。

久米島, 1983-iii-28, 1♂2♀。

宮古島(平良), 1981-iii-15, 1♂2♀, 岡徹。

沖縄島では山地に本種が、海岸部にアカハネオンブバツタが棲み分る傾向にある。

北海道・本州・四国・九州・琉球列島。朝鮮, 華北, 台湾。

2. *Atractomorpha psittacina* (HAAN) アカハネオンブバツタ

沖永良部島, 1964-vii-26, 1♀, 柴田保彦, 沖縄島(与那), 1980-viii-19, 2♂3♀; (佐敷), 1986-i-18, 2♂。

久米島, 1983-iii-28, 2♂2♀。

座間味島, 1980-vii-26, 3♂2♀。

宮古島(平良), 1981-vi-7, 1♂1♀, 岡徹。

石垣島(オモト山麓), 1985-xi-16, 2♂1♀。

西表島(大原), 1980-xii-5, 2♂3♀, 岡田正哉。

与那国島, 1982-vii-23, 2♂, 小林正明。

前種に酷似するが、後翅基部が桃色であること、頭頂部が幅広くより平滑であることで区別できる。

琉球列島。台湾, 中国, アッサム, ジャワ。

ACRIDIDAE バツタ科

形は多様で通常頭頂溝はない。翅の長短はさまざま。鼓膜器官は正常でいろいろな型の発音機構をもつ。アンテナは30節より少ない。産卵管は通常4本の短いシャベル状をなす。琉球列島からは29種が知られている。

1. *Hieroglyphus annulicornis* (SHIRAKI)

ヒゲマダライナゴ

宮古島(平良), 1981-ix-27, 1♀, 岡徹。

石垣島(バンナ岳), 1982-vii-5, 2♂1♀, 宮武頼夫。

西表島(船浦), 1978-x-2, 1♀, 小浜継雄。

和名のとおり触角に黄白色の帯がある。前胸背には黒色の3本の横みぞがある。

台湾・海南島, 中国, インド, ベトナム。

2. *Oxya hyla intricata* (STÅL) コイナゴ

沖縄島(奥川), 1977-xi-18, 3♂4♀。日浦勇; (半地), 1983-viii-26, 2♂1♀。

渡嘉敷島, 1974-xii-1, 4♂1♀, 柴田保彦。

石垣島(登野城), 1975-xii-11, 1♂, 柴田保彦。

西表島(大原), 1975-xii-11, 1♂, 柴田保彦。
水田地帯に多い。

琉球列島。台湾, インドシナ, フィリピン。

3. *Oxya chinensis formosana* SHIRAKI タ
イワンハネナガイナゴ

奄美大島(名瀬), 1970-vi-25, 1♀, 柴田保彦;
(朝仁), 1970-vi-30, 2♂1♀, 柴田保彦。

沖縄島(辺土名), 1977-xi-15, 1♂2♀。日
浦勇;(名護), 1980-x-11, 1♂1♀, 加納康
嗣;(半地), 1983-viii-26, 3♂4♀。

渡嘉敷島, 1974-xii-1, 3♂, 柴田保彦。

石垣島(米原), 1975-iii-9, 3♂1♀, 柴田保
彦;(オモト山麓), 1985-xi-16, 2♂2♀。

西表島(船浦), 1981-xi-1, 1♂, 富永修;
(上原), 1982-viii-23, 2♂3♀。

与那国島(祖納), 1983-iii-16, 2♂1♀。

琉球列島。中国, 朝鮮, 台湾。

4. *Oxya japonica japonica* (THUNBERG)
ハネナガイナゴ

奄美大島(宇検), 1958-vii-15, 2♀, 鳥越憲
三郎。

宮古島(平良), 1981-iii-15, 1♂3♀, 岡徹。
本州・四国・九州。台湾, ビルマ, インド。

5. *Oxya yezoensis* SHIRAKI コバネイナゴ

トカラ宝島, 1953-v-26, 1♀, 宮本正一。

渡嘉敷島, 1974-xi-30, 1♀, 柴田保彦。

石垣島(バンナ岳), 1982-vii-30, 1♂1♀。

小林正明。

北方産は小型, 南方産は大型になる傾向がある。
イナゴの佃煮の主原料となる。

北海道・本州・四国・九州。インド, フィリ
ピン, セレベス。

6. *Oxya podisma* KARNY タイワンコバネ
イナゴ

石垣島(オモト山頂), 1986-xi-16, 3♂4♀。

福原(1982)は奄美大島以南台湾まで分布し,
水田には棲息しない旨を論じているが, 詳細につ

いてはわからない。

7. *Gesonula punctifrons* (STÅL) オキナワ
イナゴモドキ

沖縄島(百名), 1977-xi-22, 22♂11♀, 日
浦勇;(大浦川上), 1980-x-11, 1♂1♀, 加
納康嗣;(石川), 1980-ix-3, 4♂3♀。

石垣島(米原), 1976-xii-19, 1♂1♀, 柴田
保彦。

西表島(豊原), 1983-viii-21, 1♂, 市川顕彦。

与那国島, 1982-vii-23, 2♂2♀, 小林正明。

ミズイモやサトイモ葉上で群棲しているバッタ
類は本種と認めて良い。

琉球列島。台湾・海南島, 中国。

8. *Parapodisma* sp. アマミフキバッタ

奄美大島(湯湾岳), 1980-xi-22, 2♂3♀,
土井伸治。

奄美大島のみから知られ, 1年1化で成虫は6
月から12月に見られ, ミカン等を食害するという。

* 9. *Parapodisma* sp. オキナワフキバッタ
(仮称)

沖縄島(石川山城), 1979-ix-9, 1♂1♀, 小
浜継雄;(羽地大川), 1981-xii-30, 1♂, 藤本
艶彦。

沖縄島のみから知られているが, 生態的なこと
は全く判っていない。

* 10. *Parapodisma* sp. ヤエヤマフキバッタ
(仮称)

石垣島(バンナ岳), 1980-xii-4, 1♂1♀, 富
永修;(オモト岳), 1985-xi-16, 2♂1♀。

* 11. *Parapodisma* sp. ヤエヤマモモアオフ
キバッタ(仮称)

石垣島(オモト岳), 1982-vii-6, 1♀, 宮武
頼夫。

西表島(浦内川), 1982-vii-24, 1♂1♀, 小
林正明。

※12. *Fruhstorferiola* sp. タラノキフキバツタ (仮称)

沖縄島(羽地大川), 1978-VIII-9, 1♂1♀, 小浜継雄; (辺土名), 1981-VI-28, 2♂4♀, 小林正明。

沖縄島のみから記録され、タラノキを食するという。

13. *Patanga japonica* (BOLIVAR) ツチイナゴ

トカラ宝島, 1953-V-26, 2♀, 宮本正一。

伊平屋島, 1982-III-22, 1♀, 富永修。

沖縄島(与那), 1977-XI-15, 1♂, 日浦勇; (名護), 1980-X-11, 1♂1♀, 加納康嗣; (南風原町), 1982-X-10, 1♂2♀。

久米島, 1983-III-28, 2♂。

石垣島(吉原), 1982-VII-7, 1♂。宮武頼夫; (宮良), 1982-VIII-27, 1♂2♀。

西表島(大原), 1981-X-30, 1♂, 富永修; (上原), 1982-VIII-23, 1♀。

Patanga 属の中では最北の地に分布し、成虫で越冬する。

本州・四国・九州・琉球列島。北西ヒマラヤ, 東中国, 朝鮮。

14. *Patanga succincta* (JOHANNSON) タイワンツチイナゴ(セスジツチイナゴ)

奄美大島(湯湾), 1966-VIII-21, 1♀, 神吉正雄; (笠利), 1978-IV-17, 1♀。

沖永良部島(知名), 1964-VII-26, 1♀, 柴田保彦。

沖縄島(与那), 1981-VIII-19, 2♂3♀; (首里), 1985-X-14, 2♂。

渡嘉敷島, 1974-XII-1, 1♀, 柴田保彦。

久米島, 1983-III-28, 1♀。

宮古島(平良), 1981-III-12, 2♂2♀, 岡徹。

石垣島(名蔵), 1981-VI-22, 1♂1♀, 小林正明; (オモト山麓), 1985-XI-16, 1♂2♀。

西表島(上原), 1982-VIII-22, 1♂1♀。

与那国島(久部良), 1982-VII-22, 1♀, 小林正明; (祖納), 1983-III-16, 2♀。

前種に酷似するが、本種は後翅基半部が鮮やか

な紅色を呈し、前翅先端部の黒斑が明瞭な細条をなすこと、前胸背の後縁が黄色を呈すこと等で区別できる。

日本での北限は奄美群島。台湾, フィリピン, ボルネオ, インド, セイロン, 中国。

15. *Traulia ornata amamiensis* YAMASAKI アマミモリバツタ

奄美大島(湯湾岳), 1980-XI-23, 1♀, 土井伸治郎。

徳之島にも棲息するという。

16. *Traulia ornata okinawaensis* YAMASAKI オキナワモリバツタ

沖縄島(与那), 1977-XI-15, 4♂1♀, 日浦勇; (首里), 1979-X-10, 2♂2♀; (名護), 1980-X-10, 1♂1♀, 加納康嗣。

渡嘉敷島, 1974-XI-30, 1♂, 柴田保彦。

17. *Traulia ornata ishigakiensis* YAMASAKI イシガキモリバツタ

石垣島(名蔵), 1981-VI-22, 1♂1♀, 小林正明; (オモト岳), 1982-VIII-27, 2♂2♀。

18. *Traulia ornata iriomotensis* YAMASAKI イリオモテモリバツタ

西表島(大富), 1975-XII-12, 1♂, 原幸治; 1982-VIII-16, 1♂, 河合正人; (仲間川), 1981-X-30, 1♀, 富永修。

19. *Traulia ornata yonaguniensis* YAMASAKI ヨナグニモリバツタ

与那国島(久部良), 1982-VII-23, 1♂2♀。小林正明; (祖納), 1983-III-15, 1♂2♀。

Traulia 属はインドから東南アジアに約40種が棲息するという。YAMASAKI (1966) は琉球列島のものは島毎に形態が違うとのことから上記の5亜種に分けている。

20. *Catantops* (*Stenocatantops* ?) *splendens* (THUNBERG) アカアシホソバツタ

宮古島(下地), 1981-III-29, 3♂1♀, 山西良平。

石垣島(バンナ岳), 1982-VII-30, 2♂, 小林
 正明; (オモト山麓), 1985-XI-16, 2♂1♀。

西表島(浦内川), 1982-V-2, 1♀, 冨永修。
 与那国島(祖納), 1983-III-18, 2♂1♀。

宮古島以南。台湾, フィリピン, インド。

21. *Eyprepocnemis shirakii* BOLIVAR セグ
 ロイナゴ

沖永良部島, 1964-VII-27, 1♀, 筒井嘉隆。

旧名はセグロバッタだったが, 本種はイナゴ亜
 科に属するため表記の和名になった。川原や丘陵
 などのやや湿った草地に多い。

本州・四国・九州・対馬。朝鮮, 中国。

22. *Eyprepocnemis ishigakiensis* SHIRAKI
 イシガキセグロイナゴ

宮古島(平良), 1981-VI-21, 1♂2♀, 岡徹。

石垣島(名蔵), 1981-VI-22, 1♂, 小林正明
 ; (オモト山麓), 1985-XI-16, 2♂1♀。

本種は前種と酷似するが, 頭頂が少々突出する
 (前種は丸い)こと, 体長に対する翅長比が大きい
 こと, 後腿節背面の鋸歯は無いかはっきりしない
 (前種は有)等で区別できる。

23. *Acrida cinerea* (THUNBERG) ショウリ
 ヨウバッタ

トカラ宝島, 1953-V-26, 1♂, 宮本正一。

奄美大島(朝仁), 1970-VI-30, 1♂1♀, 柴
 田保彦。

沖永良部島, 1964-VII-25, 1♀, 柴田保彦。

沖縄島(首里), 1980-X-14, 2♂1♀; (玉
 城), 1986-I-18, 2♂2♀。

渡名喜島, 1978-IV-28, 1♂1♀, 小浜継雄。

久米島, 1983-III-28, 2♂1♀。

宮古島(平良), 1980-III-20, 1♂2♀, 岡徹。

石垣島(名蔵), 1981-VI-22, 1♂3♀, 小林
 正明; (宮良), 1982-VIII-27, 1♂1♀。

西表島(古見), 1982-VII-26, 2♂, 小林正明。

与那国島(久部良), 1982-VII-23, 3♂1♀,
 小林正明; (祖納), 1983-III-17, 1♂1♀。

波照間島, 1983-VI-21, 1♂, 清水清市。

本州・四国・九州・琉球列島。朝鮮, 台湾。

24. *Gonista bicolor* (HAAN) ショウリヨウ
 バッタモドキ

沖縄島(羽地大川), 1980-X-10, 1♀, 加納
 康嗣; (知念), 1984-XI-9, 1♂2♀。

渡嘉敷島, 1974-XII-1, 2♂, 柴田保彦。

石垣島, 1980-XII-9, 1♂, 岡田正哉。

西表島(古見), 1982-VII-26, 3♂2♀, 小林
 正明。

前種に似るが, 身体背面はほとんど直線状,
 後脚は短い。やや湿ったイネ科草地に棲む。

本州・四国・九州・琉球列島。東南アジア。

25. *Locusta migratoria* LINNAEUS トノサマ
 バッタ

奄美大島(宇検), 1958-VII-15, 1♀, 鳥越憲
 三郎。

沖永良部島, 1964-VII-26, 1♀, 柴田保彦。

沖縄島(与那), 1980-VII-10, 2♂2♀。

南大東島, 1983-IX-14, 3♂4♀。

宮古島(砂川), 1981-V-17, 4♂4♀, 岡徹。

別名をダイミョウバッタともいい, 中国や中央
 アジアでは群生相を生じ大群で移動する(飛皇)。
 南北大東島でも大発生(転移相)してサトウキビに
 大害を与えたことがある。

北海道・本州・四国・九州・琉球列島。旧北区,
 ヨーロッパ, アフリカ。

26. *Gastrimargus marmoratus* (THUNBERG)
 クルマバッタ

トカラ宝島, 1953-V-26, 1♀, 宮本正一。

沖縄島(安波), 1978-V-30, 1♀; (佐敷),
 1980-X-23, 2♂3♀。

渡嘉敷島, 1974-XII-1, 2♂, 柴田保彦。

宮古島(新里), 1976-VI-27, 3♂, 宮武頼夫。

石垣島(米原), 1975-III-9, 1♂, 柴田保彦。

西表島(大富), 1981-X-30, 1♂, 冨永修。

波照間島, 1983-VI-21, 1♂, 清水清市。

本州・四国・九州。中国から東洋熱帯。

27. *Trilophidia annulata japonica* SAUSSURE

イボバツタ

宮古島(平良), 1981-iii-18, 2♀, 岡徹。

西表島(船浦), 1978-x-2, 2♀, 小浜継雄;
(古見), 1983-viii-21, 1♂, 市川顕彦。

与那国島(久部良), 1982-vii-23, 2♂3♀,
小林正明;(祖納), 1983-iii-16, 2♂3♀。

変異の多い種で近似種が多く, 分類は再検討を要す。

本州・四国・九州。朝鮮, 台湾, 東南アジア。

28. *Heteropternis respondens* (WALKER) ア
カアシバツタ

沖永良部島, 1964-vii-25, 1♀, 柴田保彦。

伊平屋島, 1982-iii-22, 1♂, 春沢圭太郎。

沖繩島(伊豆味), 1977-xi-20, 2♂2♀, 日
浦勇;(羽地大川), 1980-xii-1, 1♂2♀。

座間味島, 1983-vii-23, 1♂2♀。

渡嘉敷島, 1974-xii-1, 1♀, 原幸治。

石垣島(バンナ岳), 1982-vii-30, 5♂3♀,
小林正明;(オモト山麓), 1985-xi-16, 2♂2
♀。

西表島(大富), 1981-x-30, 1♀, 富永修。

与那国島(久部良), 1982-vii-23, 1♂, 小林
正明;(祖納), 1983-iii-18, 2♂2♀。

後腿節内側は♂♀ともに赤。外からは♂だけが
側方下面の赤いのがわかる程度で♀は外側には赤
色はない。

琉球列島以南。インド, セイロン, ビルマ, マ
レー半島, ジャワ, スマトラ。

29. *Aiolopus tamulus* (FABRICIUS) マダラ
バツタ

トカラ諏訪瀬島, 1984-vi-29, 2♀, 清水清
市。

トカラ口之島, 1984-vi-15, 2♂1♀, 清水
清市。

トカラ宝島, 1953-v-26, 1♂2♀, 宮本正

一。

奄美大島(朝仁), 1970-vi-30, 1♂5♀。柴
田保彦。

沖繩島(本部), 1977-xi-20, 12♂13♀。日
浦勇;(羽地大川), 1980-x-10, 1♂, 加納康
嗣;(首里), 1985-xi-22, 2♂1♀。

北大東島, 1983-i-30, 2♂2♀。

渡名喜島, 1978-iv-28, 2♂, 小浜継雄。

宮古島(下地), 1981-iii-29, 1♀, 山西良平。

石垣島(オモト山麓), 1985-xi-16, 1♂2♀。

西表島(古見), 1982-vii-27, 3♂2♀, 小林
正明;(大富), 1981-x-30, 4♂1♀, 富永修。

与那国島, 1983-vi-1, 1♂, 丹羽力。

本州・四国・九州・琉球列島。台湾からインド
等の東洋熱帯。

要 約

1. 本報には琉球列島(トカラ列島~波照間・
与那国島)の直翅目138種を記した。その内訳は
キリギリス科31種, コロギス科5種, カマドウマ
科8種, コオロギ科48種, アリツカコオロギ科2
種, ケラ科1種, ノミバツタ科2種, ヒシバツタ
科10種, オンブバツタ科2種, バツタ科29種とな
っている。

2. キリギリス科の中でオキナワヘリグロツユ
ムシ *Psyrana* sp., ヤエヤマヘリグロツユムシ
Psyrana sp., サキオレツユムシ *Isopsera* sp.,
ナカオレツユムシ *Isopsera* sp., アシグロウマ
オイ *Hexacentrus* sp., マングローブウマオイ
Phisis sp., リュウキュウカヤキリモドキ *Pyrgo-*
corypha sp., リュウキュウヒサゴクサキリ
Agraecia sp., オキナワヒメツユムシ *Lepto-*
teratura sp., ヨナグニヒメツユムシ *Leptote-*
teratura sp., フトオビスサキリモドキ *Xiphidiopsis*
sp. の11種は初めて記録された。

3. コロギス科のオオコバネコロギス *Neanias*
sp., マルモンコロギス *Prosopogryllacris* sp.,

ヒノマルコロギス *Prosopogryllacris* sp. の3種は初めての記録である。

4. カマドウマ科の8種はすべて初めて記録された。

5. コオロギ科のリュウキュウヒメコオロギ *Modicogryllus* sp., オキナワクチキコオロギ *Duolandrevus* sp., ヤエヤマクチキコオロギ *Duolandrevus* sp., コバネマツムシ *Lebinthus* sp., アカマツムシモドキ *Aphonoides* sp., ヤエヤママツムシモドキ *Aphonoides* sp., カルニヤカコオロギ *Paticus karnyi*, ネットイキンヒバリ *Anaxipha* sp., ムナグロキンヒバリ *Anaxipha* sp., ネットイヤマトヒバリ *Homoeoxipha* sp., ネットイヤチスズ *Pteronemobius* sp., ダイトウウミコオロギ *Parapteronemobius daitoensis*, ヒルギカネタタキ *Ornebius* sp., ウスグロカネタタキ *Ornebius* sp. の14種は初めて記録された。

6. アリツカコオロギ科の2種はすべて初めて記録された。

7. ノミバッタ科は全て今回初めて記録された。

8. ヒシバッタ科のミナミハネナガヒシバッタ *Euparatettix personatus* ホソハネナガヒシバッタ *Euparatettix tricarinatus*, タイリクトゲヒシバッタ *Criotettix bispinosus*, ナガレトゲヒシバッタ *Eucriotettix oculatus*, チビヒラタヒシバッタ *Apterotettix* sp., ヒメヒシバッタ *Tetrix* sp., イボトゲヒシバッタ *Platygalialidium formosanum* の7種は初めて記録された。

9. バッタ科のオキナワフキバッタ *Parapodisma* sp., ヤエヤマモモアオフキバッタ *Parapodisma* sp., ヤエヤマフキバッタ *Parapodisma* sp., タラノキフキバッタ *Fruhstorferiola* sp. の4種は初めて記録されたものである。

参考文献

- 東 清二, 1975. 沖繩の昆虫類, 143 pp, 風土記社, 沖繩。
- 直翅類研究グループ, 1983. 日本の直翅類, 101 pp. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第15集, 大阪。
- CHOPARD, L., 1969. The fauna of India and the adjacent countries, Orthoptera 2, Grylloidea. 421 pp. Zoological Survey of India, Baptist Mission Press, Calcutta.
- 日浦 勇, 1977. 直翅目(跳躍目), 原色日本昆虫図鑑(下): 55~81. 保育社, 大阪。
- 日浦 勇・宮城頼夫・加納康嗣・河合正人・萩原享・河北均, 1978. 新版鳴く虫。大阪市立自然史博物館第5回特別展「鳴く虫」解説書, 88 pp. 大阪。
- 加納康嗣・岡田正哉・河合正人, 1982. 鳴く虫たち, 90 pp. 保育社, 大阪。
- 金城政勝・東清二・小浜継雄, 1978. 琉球大学農学部附属演習林の昆虫(3)トンボ目, ナナフシ目, カマキリ目, 直翅目. 琉球大学農学部学術報告, 25: 711-723.
- 小林正明, 1981. 信州の秋に鳴く虫とそのなかま, 264 pp. 秋の虫の会, 長野。
- , 1985. 日本の秋の虫, 160 pp. 築地書館, 東京。
- 正木進三, 1978. 種の分化と気候適応(シバズの場合)。遺伝, 32(10): 35~41。
- 松浦一郎, 1976~1982. 日本産のコオロギ類(1~10)。昆虫と自然, 11(5): 9~13, 12(9): 16~19, 12(10): 23~27, 13(2): 17~22, 13(12): 19~24, 14(8): 13~17, 14(11): 17~21, 17(10): 42~45, 17(11): 26~29, 17(12): 26~29。
- 岡 徹, 1982. 宮古島のカマキリ・ナナフシ・直翅目相。沖繩生物学会誌, 20: 25~29。
- 大城安弘・上間涼子, 1979. 琉球列島産鳴く虫に

- 関する研究, 第1報セスジツユムシ *Ducetia japonica* THUNBERG の沖縄島における生活史。沖縄生物学会誌, 17: 1~6。
- ・玉城逸子, 1985. 琉球列島産鳴く虫に関する研究, 第7報マツムシ *Xenogryllus marmoratus* HAAN の沖縄島における生活史。沖縄生物学会誌, 23: 17~24。
- ÔSHIRO, Y., 1985. A New Species of *Phaloria* (Orthoptera, Gryllidae) from the Ryukyu Islands. *Kontyû*, 53(1): 138~142.
- 大城安弘・喜世川敦子・大城美智代・東恩納春美, 1986. 琉球列島産鳴く虫に関する研究, 第9報タイワンウマオイ *Hexacentrus* sp. の沖縄島における生活史。沖縄生物学会誌, 24: 21~29。
- 高良鉄夫・東清二, 1973. 沖縄の昆虫(沖縄産昆虫目録), 学習研究社, 東京。
- YAMASAKI, T., 1966. Subspeciation in a locust, *Traulia ornata* of the Ryukyu Islands. *Kontyû*, 34(1): 85~103.
- 山崎柄根, 1971. 直翅類, 動物系統分類学7(下B) 節足動物(Ⅲb) 昆虫類(中), pp. 154~195, 中山書店, 東京。
- YAMASAKI, T., 1982. A new species of the genus *Gampsocleis* from the Ryukyu Islands. *Annot. Zool. Jap.*, 55(2): 118~124.
- , 1985. A New Genus and Species of Mogoplistidae (Orthoptera, Grylloidea) from the Ryukyus. *Proc. Jap. Soc. Syst. Zool.*, 31: 44~49.
- fam. Grillacrididae, 8 species of fam. Phaphidophoridae, 48 species of fam. Gryllidae, 2 species of fam. Myrmecophilidae, 1 species of fam. Gryllotalpidae, 2 species of fam. Tridactylidae, 10 species of fam. Tetrigidae, 2 species of fam. Pyrgomorphidae, 29 species of fam. Acrididae were listed in this report.
- Psyrana* sp. 1, *Psyrana* sp. 2, *Isopsera* sp. 1, *Isopsera* sp. 2, *Hexacentrus* sp., *Phisis* sp., *Pyrgocorypha* sp., *Agraecia* sp., *Leptoteratura* sp. 1, *Leptoteratura* sp. 2, *Xiphidiopsis* sp. of fam. Tettigoniidae are new record in the Ryukyu Islands.
- Neanias* sp., *Prosopogryllacris* sp. 1, *Prosopogryllacris* sp. 2 of fam. Grillacrididae are new record.
- All species of fam. Phaphidophoridae are new record.
- Modicogryllus* sp., *Duolandrevus* sp. 1, *Duolandrevus* sp. 2, *Lebinthus* sp., *Aphonoides* sp. 1, *Aphonoides* sp. 2, *Paticus karnyi*, *Anaxipha* sp. 1, *Anaxipha* sp. 2, *Homoeoxipha* sp., *Pteronemobius* sp., *Parapteronemobius daitoensis*, *Ornebius* sp. 1, *Ornebius* sp. 2 of fam. Gryllidae are new record.
- All species of fam. Myrmecophilidae are new record.
- All species of fam. Tridactylidae are new record.
- Euparatettix personatus*, *Euparatettix tricarinatus*, *Criotettix bispinosus*, *Eucriotettix oculatus*, *Aplerotettix* sp., *Tetrix* sp., *Platygalialidium formosanum* of fam. Tetrigidae are new record.
- Parapodisma* sp. 1, *Parapodisma* sp. 2,

Summary

From the Ryukyu Islands, 11 families and 138 species of Orthopterous insects: 31 species of fam. Tettigoniidae, 5 species of

Parapodisma sp. 3 and *Fruhstorferiola*
sp. of fam. Acrididae are new record from
the Ryukyu Islands.

追記：本報印刷中に沖縄島（国頭村）から次の種
が採集されたので記録しておく。

Anostostomidae(?)クロギリス科(新科)

**Anabropsis* (?) sp. ヤンバルクロギリス
(新称)

沖縄島(国頭村), 1986-VI-21, 1♂
1♀。

Anostostomidae (?), *Anabropsis* (?) が
我が国から記録されるのはこれが初めてで
ある。♂♀ともに無翅で、体色は黒色、各
肢ともひざから先は純白。土中に穴を掘っ
て巣をつくり、昼間はそこに潜み、夜間に
なると出歩く地上性・夜行型昆虫である。